

チェンナイ市の大洪水で被災者への緊急カンパの支援を

感染症の拡大や洪水を 利用した強制立ち退きの不安も

カンパの送金先：郵便振替 00120-9-670138
インド子ども人権基金
締め切り：2016年2月28日



公立学校等で避難生活



大雨による洪水で町全体が水没



町中でゴミが散乱

私たちは2007年にインド子ども人権基金を設立し、ダリットの里子教育支援に取り組んで参りました。この11月15日から12月5日の100年に一度と言われる大雨によってチェンナイ市とケツダルー地区が洪水による災害に見舞われました。すでに政府の発表だけで269人の死者が出ています。この地域の里子のすべてが被災し、避難生活を余儀なくされています。ダリットの地域はバッキンガム運河沿いにあり、蚊の大量発生や大量のゴミ等の不衛生な状況の中で感染症拡大の危険も増大しています。避難生活の中でもダリットへの差別があり、洪水を利用した強制立ち退きによって住み処を失う心配もあります。私たちは現地パートナー団体のエリー・キャロリンさんを2015年12月17日～28日まで日本に招聘し、現地の被災状況の報告を受けました。彼女の緊急の救援要請にこたえて、カンパ活動を行っております。カンパ金は里子の見舞金と彼女の団体の被災支援活動に充てさせていただきます。ご協力いただいた方には後日、活動と会計の報告を送付させていただきます。

主催 NPO 法人インド子ども人権基金

台東区今戸2-8-5 電話 03-3874-7332